

自立活動だより

山形県立山形聾学校 自立活動部
令和7年 1月24日（金）発行
第5号

2025年が始まって早くも1か月が経ちます。今年度の学校生活も残りわずかとなりました。将来の自立や自分の立てた目標に向かって、引き続き学習に取り組んでいきましょう。

ふゆば ほちょうき き し 冬場の補聴機器 知っておきたい2つのポイント

補聴機器にも苦手な季節があることは、勿論ご存じですよね。毎日身に付ける補聴機器は、たくさん汗をかく暑い「夏」が苦手。でも「冬」も補聴機器は意外に苦手な季節です。今回は、寒い冬が補聴機器に与える影響とその対策について、改めて確認してみたいと思います。

あせ けつろ こしょう 1 汗や結露による故障リスク

冬場になると、補聴機器の内部に、結露が起きる場合があります。表面がぬれた場合と異なり、補聴機器の内部に水分が付いたことは分かりません。定期的な補聴器店でのクリーニングも重要ですが、日頃からこまめなお手入れがとても大切です。お手入れの方法は以下の3ステップです。

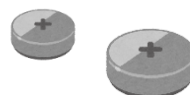
あせ けつろ たいさく 汗や結露への対策

- 補聴機器本体の汚れ・水分をやわらかい布で拭きましょう。チューブに入っている場合もあるので、こよりなどで取ると良いです。
- 補聴機器の音口の汚れ、耳垢を取り除きましょう。
- 乾燥ケースや電気乾燥機で補聴機器を乾燥させましょう。



さむ えいきょう でんちじゅみょう ていか 2 寒さが影響？電池寿命が低下するリスク

電池式補聴器で使用する空気電池は、酸素を取り入れて発電しているため、周囲の空気の温度や湿度に影響されます。冬に灯油やガスのファンヒーターやストーブを使うと、空気中の二酸化炭素が増加するため、空気電池は本来の電池寿命よりも消耗が早くなる場合があります。また、低温により電池の発電性能が低下し、通常より早く消耗することがあります。



寒さへの対策

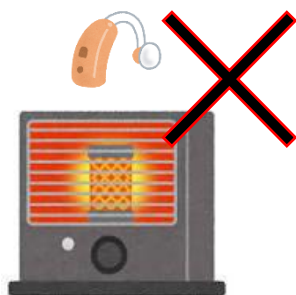
〇二酸化炭素が室内に充満しないよう、定期的に換気を行いましょう。

〇空気電池の保管場所に注意しましょう。

冬場は、換気の良い暖かい部屋で保管しましょう。補聴機器は熱に弱いので、次の行為は控えましょう。

《高温になるところに置く》

《熱風をあてる》



ストーブやヒーターのそばに置く



濡れたからといってドライヤーを使う

補聴機器は、毎日使う生活必需品です。寝る前など、補聴機器をはずしたら、ティッシュや乾いた柔らかい布で拭いて、補聴機器の乾燥機を使ったり、乾燥できる保存ケースに入れたりすることを習慣にしましょう。毎日の点検にもつながり、故障が少なくなります。自分の一部でもある補聴機器を大切に扱い、快適な『聞こえ』を確保できるようにしましょう。

出典： きこえナビ

Panasonic

長崎県立学校ホームページ
Nagasaki Prefectural Schools

次回の業者補聴器点検日は、2月12日(水)です。

点検してくださる販売店の方に、気持ちのよいあいさつをしましょう。

こんにちは!

今年もお願いします。

お世話になっています。

いつもありがとうございます